

平成28年度後期 学部(群)教育改善計画

学部(群)名	看護学部(群)
学部(群)長名	吉田 俊子

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学部(群)全体で改善すべき重点課題について3つ挙げてください。	
①	学生の意見からは、レジュメの内容把握しやすさへの要望や、講義前後でのフィードバック効果、実技では集団教育と個別対応の組み合わせを行うことでの学習効果が伺えた。科目全体の流れと各講義の位置づけを確認したり、個々の学習状況の振り返りをおこなっていけるような工夫が必要と考える。
②	学生からは、グループワークの評価方法や学習内容の明確化、試験内容と講義内容との相違などの意見があった一方で、教員側は、学生の理解困難な部分や、到達度が低い内容への改善にむけての意見が多くみられている。学生と教員間で、到達度への理解が一致していないところがあるのではないかと。
③	授業評価のアンケート平均回答率が23%台(0%~41.9%)と平成28年度前期よりは改善したものの、全体を反映していない。
1-(2). 上記の3つの課題をそれぞれ解決するための取組と、その具体的な進め方(5W1H等)について書いてください。	
①	平成29年度FDにて、看護学群における教育の質向上の方策の検討を11月8日(水)9時~12時に実施する。新カリキュラムの基盤教育における学生の学修状況を共有した上で、どのような改善を図るべきか、また、新たな教育方法として導入できるものはあるかなど、具体的な取組を共有して、新たな視点での看護学群の教育のあり方について検討する予定である。2-(1)項目に挙げている事例が、本課題の解決方法として考えられることから、本FDにて共有を行う。
②	ループリックを整備していくことが、学習課題の明確化や達成度や評価を学生、教員ともに相互に明確にすると考える。全学の今年度の進捗状況を確認しつつ、学群での整備をさらに図っていく。
③	平成29年度より授業時間内で行う方策をとっているが、看護は演習やグループワークなども多いため、入力作業日が取れなかったり、演習日程などの影響を受けることも考えられる。平成29年度前期の結果集計、入力状況、内容の確認を行い、その結果を踏まえて今後の方策検討が必要と考える。

2-(1). 各科目の授業改善計画書から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
・演習において、毎回実技のデモやWEB動画などを行い、自主学習しやすくするための工夫の実施している。講義内容の前後での小テスト等でのフィードバックやワークシートポートフォリオで学習の進捗ができる工夫を行っている。	
2-(2). 上記の事例を学部(群)全体でどのように共有して教育改善につなげていくか、具体的な進め方(5W1H等)を書いてください。	
教員会議、専門科目担当者会議等に共有をはかるとともに、平成29年度FDにて、看護学群における教育の質向上の方策の検討を11月8日(水)9時~12時に実施する具体的な取組を共有する予定である。	